

「受賞者の声」

テーマ「IoT/AR 製品開発における職業訓練の実践・評価

-アジャイル開発手法を応用した電気系訓練生によるグループ制作の効果的指導-

独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構

東海職業能力開発大学校附属浜松職業能力開発短期大学校

寺田 憲司

この度は、職業能力開発論文コンクールにおいて、厚生労働大臣賞入選という栄誉ある賞を賜わり、大変嬉しく光栄に思っております。また、論文執筆にあたっては、職員のみならず民間の技術者を始め多くの関係各位のご協力をいただきましたことを深く御礼申し上げます。

近年、全ての分野において IoT が求められる中、専門課程の学生のモチベーションを上げながら新分野の技術習得を促す指導方法を模索しておりました。今回の指導技法は受賞の講評にもありましたが、学生のものづくりに対するモチベーションを上げると同時に評価者を校外に設定することで新聞掲載・コンテストの受賞等、短大の広報として活用できました。

一方で受賞後、指導技法に用いたアジャイル開発手法について応用課程の開発課題等すでに実践されている指導員がいるという事がわかりました。受賞をきっかけに、そのような指導員や多くの方からお祝いの言葉と共に職業訓練について意見を交わすことができました。その中での発見を今年度から試し、新たな好事例を生み出すことに成功しております。このような結果を出すきっかけとなった論文コンクールの受賞に心から感謝しております。

私は指導員としてまだまだ至らぬことが多いと考えており、今後は様々な職業訓練の第一線で活躍している指導員の諸先輩方に追い付くため努力していきたいと考えております。また、後輩指導員の育成に励みたいと考えております。次の目標は、後輩が厚生労働大臣賞の特選・入選を果たせるよう支えることです。